



公害対策全国連絡会議の会場

# 四項目の要請を決議

## 公害対策全国連絡会議ひらく

代表 水俣病で厚相に陳情

総評、中央社会保険協議会主催の公害対策全国連絡会議が十五日午前十時から東京・霞が関の全日本労働会館に全国の公害被災者代表など約六十人が出席して開かれた。熊本県からは水俣病対策市民会議の日吉フミコ会長らが出席、公害対策について協議した。

日吉会長はこれに先立ち同日午前九時四十分、院内自民党控室で園田厚相に会い、「生活保護を受けている水俣病患者に対する会社の見舞い金を、無条件に収入と認定しないよう考慮してほしい」と陳情し、さらに「イタイイタイ病は明確な結論が出て患者に希望を与えた。水俣病はまだ結論が出ていない。ぜひ原因をはっきりさせてほしい」と訴えた。

これに対し同相から「希望にそえるようにできるだけ善処したい」との返答があったという。

なお連絡会議は「大気汚染、水質汚濁、騒音、振動、悪臭などの公害防止対策を企業・政府の責任で確立する」など四項目を加害企業・政府・自治体に要請することを決め閉会した。

日吉会長はこのあと連絡会議の代表とともに同日午後五時すぎ、上野駅から、富山県神通川流域のイタイイタイ病の現地調査に出発した。十六日に同病の原因となったカドミウムを排出していた神岡鉱業所や同病患者が入院している同県婦倉郡婦中町(ねいぐん・ふちゅうまち)の萩野病院などを視察の手定。(東京支社)